

テーマ

朝鮮半島情勢と南北関係、そして私たち

共同通信社客員論説委員

講師 **平井 久志 さん**

第一歩は知ることから……

信州渡来人倶楽部代表 中野和朗



日本と朝鮮半島は古代からお互い影響し合いながら融合文化を育んできました。一番近い外国は韓国・朝鮮です。朝鮮半島



プロフィール

信濃毎日新聞「コリアノート」筆者

1952年 香川県生まれ、早稲田大学法学部卒。1975年共同通信社入社、外信部、ソウル支局長、北京特派員などを経て、現在、客員論説委員、2002年瀋陽事件報道で新聞協会賞受賞、同年瀋陽事件や朝鮮経済改革などの朝鮮問題報道でボーン・上田賞受賞、著書 「ソウル打令 反日と嫌韓の谷間で」「日韓子育て戦争 「虹」と「星」が架ける橋」「なぜ北朝鮮は孤立するのか 金正日 破局へ向かう「先軍体制」など

情勢は刻一刻と変化しています。私達は朝鮮半島の正しい情勢を知ることが今一番大切な時期だと思います。もし、朝鮮半島で不幸にも再び戦火を交えるようになったらどうなるでしょうか。有識者の予想ですと約200万人もの人々が難民として日本に押し寄せてくると予想しています。朝鮮半島で再び戦火を交えることが絶対あってはいけません。

平和で真の友好親善が実現できるよう声をあげていかなければなりません。その為に現在の情勢と南北関係を学ぶことが大切です。まずは知る事から…一歩踏み出しましょう。

2013

日時 **12月8日**

開場/13:30 開演/14:00

会場 **松本勤労者福祉センター**

大会議室

会費 前売り一般 600円 学生 500円 当日 800円

チケット取り扱い：やんちゃ坊(090-1691-4485) HANA(0263-87-0873) 豆工房(0263-33-9123)

主催 **信州渡来人倶楽部**

事務局：松本市蟻ヶ崎6-8-1小島気付

講演会問合せ&連絡先 **李 春浩(090-1691-4485)**

後援 松本市 松本市教育委員会 早稲田大学中信稲門会 TSB テレビ信州
テレビ松本(予) 信濃毎日新聞社 松本平タウン情報 市民タイムス